

2010年 1 月31日 実施

平成21年度（第42回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報部門〉
第 1 級 筆記試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 6 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は30分です。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

- 1. 基本設計からテストまでの流れが、前の工程に戻らないことを原則としているシステム開発モデル。
- 2. コンピュータシステムが一定時間内に処理する仕事量や、伝達できる情報量。
- 3. 信頼性や処理速度を向上させるために、複数台のハードディスク装置を並列に組み合わせて一体化し、全体を1つのハードディスク装置のように扱う方式。
- 4. 主記憶装置とハードディスク装置との間に置いて、データ転送を高速にするための記憶装置。ハードディスク装置から読み込んだデータを一時的に蓄えておき、再度同じデータを読み込む際には蓄えたデータを利用する。
- 5. ネットワークを介してファイルを転送するためのプロトコル。Webサーバへデータをアップロードする際などに使われる。

解答群		
ア. スループット	イ. プロトタイプモデル	ウ. CGI
エ. RASIS	オ. XML	カ. FTP
キ. RAID	ク. レスポンスタイム	ケ. ターンアラウンドタイム
コ. キャッシュメモリ	サ. ウォータフォールモデル	シ. ディスクキャッシュ

【2】 次の文の（ 1 ）から（ 5 ）に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

最近ではコンピュータをLANに接続して利用することが多いため、LANに接続するための機器である（ 1 ）がコンピュータなどに装着されていることが多い。したがって、LANケーブルと集線装置である（ 2 ）を用意することでLANを構築し、プリンタやインターネット接続を共有して利用することができる。

インターネットに接続する際、ブロードバンドルータを利用して、LAN内の複数のコンピュータで1つの回線を共有して利用することが一般的である。ブロードバンドルータは、プロバイダから割り当てられた（ 3 ）IPアドレスと、LAN内の複数のコンピュータに設定された（ 4 ）IPアドレスを互いに変換する機能を持っている。また、個々のコンピュータに（ 4 ）IPアドレスを手動で設定する必要がないように、自動的に割り当てるための（ 5 ）サーバの機能を有したブロードバンドルータもある。

解答群		
ア. パケット	イ. SMTP	ウ. プライベート
エ. サブネットマスク	オ. NIC	カ. BIOS
キ. UPS	ク. ハブ	ケ. グローバル
コ. DHCP	サ. POP	シ. Cookie

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

- 1. 企業内の業務システムの構築や運用について、情報システム部門や外部の業者ではなく、実際にシステムを利用して業務を行う側が、自らアプリケーションソフトなどを活用して、業務の効率化や改善を図ること。
- 2. 相関関係にある2種類のデータ間の関係や傾向を分析することで、結果を予測すること。
- 3. 音声や画像などのマルチメディアデータを電子メールで送受信するために、バイナリデータをASCIIコードに変換する方法や、データの種類を表現する方法などを規定したもの。

解答群		
ア. クリティカルパス	イ. ブレーンストーミング	ウ. EUC
ア. ABC分析	イ. 回帰分析	ウ. KJ法
ア. SSL	イ. MIME	ウ. DNS

4. 複数の条件と、その条件に対応する行動を表した次の図の名称。

条件	取引実績 10年以上	Y	Y	N	N
	受注額累計 1,000万円以上	Y	N	Y	N
行動	値引率 7%	X	-	-	-
	値引率 5%	-	X	X	-
	値引率 0% (値引きなし)	-	-	-	X

Y:条件を満たす N:条件を満たさない X:行動 -:行動なし

ア. デシジョンテーブル
イ. E-R図
ウ. パート図

- 5. デジタルカメラで、解像度4,000×3,000ドット、1ドットあたり24ビットの色情報で200枚撮影する場合、最低限必要な記憶容量を求めなさい。なお、すべて同じ条件で撮影し、データは撮影時にカメラが自動的に8分の1に圧縮するものとする。
- | | | |
|----------|----------|--------|
| ア. 256MB | イ. 512MB | ウ. 1GB |
|----------|----------|--------|

【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の式の説明として適切なものを選び、記号で答えなさい。

=RATE(5*12, 0, -200000, 250000, 0)*12

- ア. 元金¥200,000を、1年複利で5年間預け、目標額の¥250,000に達するために必要な年利率を求める。
- イ. 元金¥200,000を、1か月複利で5年間預け、目標額の¥250,000に達するために必要な年利率を求める。
- ウ. 元金¥200,000を、1か月複利で5年間預け、目標額の¥250,000に達するために必要な月利率を求める。

問2. ある政令指定都市の市役所では、自治会長の住所を次の表を用いて管理している。B列に入力された「住所」を、C列の「区名」とD列の「町名番地等」に分けて表示する場合、C4とD4に設定されている次の式の空欄にあてはまる関数として適切なものを選び、記号で答えなさい。なお、空欄には同じ関数が入るものとする。

C4の式 =LEFT(B4,)("区", B4))

D4の式 =MID(B4,)("区", B4)+1, LEN(B4)-)("区", B4))

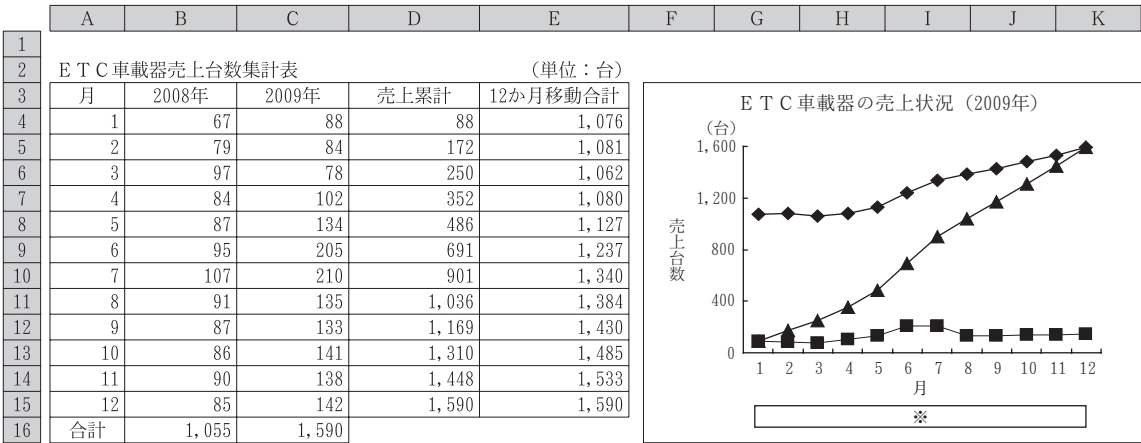
- ア. SEARCH
- イ. ISERROR
- ウ. MATCH

問3. ある百貨店では駐車場（営業時間は9時～23時）の料金を次の表を用いて計算している。C4には、「料金」を計算するために次の式が設定されている。この式をC6までコピーしたとき、C6に表示される数値として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、利用はその日の営業時間内に限るものとする。

=IF(B4-A4<=TIME(3, 0, 0), 0, ROUNDUP((B4-A4-TIME(3, 0, 0))/TIME(0, 15, 0), 0)*100)

- ア. 0
- イ. 100
- ウ. 200

問4. 次の表とグラフは、ある自動車販売店の2008年から2009年におけるETC車載器の売上台数を月別に集計したものである。次の(1), (2)に答えなさい。



(1) D列の「売上累計」は、2009年1月からその月までの売上台数の累計、E列の「12か月移動合計」は、2009年のその月から過去12か月の売上台数の合計を求めている。E4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をE15までコピーするものとする。

- ア. =B\$16-SUM(B\$4:B4)+D4
- イ. =B\$16-SUM(\$B4:B4)+D4
- ウ. =B\$16-SUM(B\$4:B4)+D\$4

(2) グラフエリアの※印部分に表示される凡例として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 12か月移動合計 2009年 売上累計
- イ. 2009年 売上累計 12か月移動合計
- ウ. 売上累計 12か月移動合計 2009年

【5】 次の表は、あるレンタルビデオショップにおける3か月間の売上データを集計、分析している。処理条件にしたがって、各問いの答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、問5については数値を答えなさい。

シート名「東京店」

	A	B	C	D	E
1					
2	東京店 (単位：枚)				
3	集計コード	10月	11月	12月	合計
4	CDN-1	519	492	532	1,543
5	CDN-2	502	520	560	1,582
6	CDO-1	528	501	541	1,570
7	CDO-8	522	495	535	1,552
8	DVN-1	615	588	628	1,831
9	DVN-2	623	640	680	1,943
10	DVO-1	518	491	531	1,540
11	DVO-8	630	635	675	1,940
東京店 横浜店 千葉店 集計表 料金表 分析表					

シート名「横浜店」

	A	B	C	D	E
1					
2	横浜店 (単位：枚)				
3	集計コード	10月	11月	12月	合計
4	CDN-1	387	364	404	1,155
5	CDN-2	375	381	421	1,177
6	CDO-1	352	329	369	1,050
7	CDO-8	368	345	385	1,098
8	DVN-1	515	492	532	1,539
9	DVN-2	584	590	630	1,804
10	DVO-1	482	459	499	1,440
11	DVO-8	493	520	560	1,573
東京店 横浜店 千葉店 集計表 料金表 分析表					

シート名「千葉店」

	A	B	C	D	E
1					
2	千葉店 (単位：枚)				
3	集計コード	10月	11月	12月	合計
4	CDN-1	357	334	374	1,065
5	CDN-2	345	360	400	1,105
6	CDO-1	342	319	359	1,020
7	CDO-8	318	295	335	948
8	DVN-1	465	442	482	1,389
9	DVN-2	548	570	629	1,747
10	DVO-1	451	428	468	1,347
11	DVO-8	462	439	479	1,380
東京店 横浜店 千葉店 集計表 料金表 分析表					

シート名「集計表」

	A	B	C	D	E
1					
2	集計表 (単位：枚)				
3	集計コード	10月	11月	12月	合計
4	CDN-1	1,263	1,190	1,310	3,763
5	CDN-2	1,222	1,261	1,381	3,864
6	CDO-1	1,222	1,149	1,269	3,640
7	CDO-8	1,208	1,135	1,255	3,598
8	DVN-1	1,595	1,522	1,642	4,759
9	DVN-2	1,755	1,800	1,939	5,494
10	DVO-1	1,451	1,378	1,498	4,327
11	DVO-8	1,585	1,594	1,714	4,893
東京店 横浜店 千葉店 集計表 料金表 分析表					

シート名「料金表」

	A	B	C	D	E
1					
2	料金表 (単位：円)				
3					
4					
5	貸出期間コード				
6	当日 1泊2日 7泊8日				
7	種類コード	種類名	1	2	8
8	CDN	C D新作	250	310	-
9	CDO	C D旧作	250	-	310
10	DVN	D V D新作	360	460	-
11	DVO	D V D旧作	250	-	360
東京店 横浜店 千葉店 集計表 料金表 分析表					

シート名「分析表」

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	3 か月間の売上分析表						
3	(単位：円)						
4	集計コード	種類名	10 月	11 月	12 月	合計	備考
5	CDN-1	C D新作	315,750	297,500	327,500	940,750	※
6	CDN-2	C D新作	378,820	390,910	428,110	1,197,840	※
7	CDO-1	C D旧作	305,500	287,250	317,250	910,000	※
8	CDO-8	C D旧作	374,480	351,850	389,050	1,115,380	※
9	DVN-1	D V D新作	574,200	547,920	591,120	1,713,240	※
10	DVN-2	D V D新作	807,300	828,000	891,940	2,527,240	※
11	DVO-1	D V D旧作	362,750	344,500	374,500	1,081,750	※
12	DVO-8	D V D旧作	570,600	573,840	617,040	1,761,480	※
13	新旧別売上高	旧作	1,613,330	1,557,440	1,697,840	4,868,610	
14		新作	2,076,070	2,064,330	2,238,670	6,379,070	
15	貸出期間別売上高	当日	1,558,200	1,477,170	1,610,370	4,645,740	
16		1泊2日	1,186,120	1,218,910	1,320,050	3,725,080	
17		7泊8日	945,080	925,690	1,006,090	2,876,860	
東京店 / 横浜店 / 千葉店 / 集計表 / 料金表 / 分析表							

(注) ※印は、値の表記を省略している。

シート名とシートの並び順：「東京店」「横浜店」「千葉店」「集計表」「料金表」「分析表」

処理条件

- シート名「料金表」は、種類コード別に貸出期間コードごとの貸出料金を表している。
たとえば、C D新作の1泊2日の貸出料金は、310円である。
なお、表中の - は、貸出の設定がないことを表している。
- シート名「東京店」、「横浜店」、「千葉店」は、集計コードごとの月別の貸出数と3か月の合計が計算されている。なお、「集計コード」は、「種類コード」と「貸出期間コード」から構成されている。
たとえば、集計コード CDN-1 (種類コード：CDN 貸出期間コード：1) は、C D新作の 当日 貸出を表している。
- シート名「集計表」は、シート名「東京店」、「横浜店」、「千葉店」の貸出数が集計コードごとに集計されている。
たとえば、シート名「集計表」の B 4 の値は、3店 (東京店、横浜店、千葉店) の B 4 の合計である。

4. シート名「分析表」は、次のように構成されている。
- (1) 「集計表」と「料金表」をもとに、集計コードごとに月別の3店の貸出売上高合計を集計する。
 - (2) 13, 14行目の「新旧別売上高」は、「旧作」と「新作」別に貸出売上高を集計する。
 - (3) 15~17行目の「貸出期間別売上高」は、「当日」、「1泊2日」、「7泊8日」の貸出期間別に貸出売上高を集計する。

問1. シート名「集計表」のB4に設定する式を答えなさい。

- ア. =SUM(東京店:千葉店!B4)
- イ. =SUM(東京店:横浜店!B4)
- ウ. =東京店!B4:横浜店!B4:千葉店!B4

問2. シート名「分析表」のC5に設定する式の空欄(a), (b)にあてはまる適切なものを答えなさい。

- =集計表!B4*
INDEX(料金表!\$C\$6:\$E\$9, MATCH((a)), MATCH((b)))
- ア. (a) RIGHT(\$A5, 1), 料金表!\$C\$5:\$E\$5, 0 (b) LEFT(\$A5, 3), 料金表!\$A\$6:\$A\$9, 0
 - イ. (a) VALUE(RIGHT(\$A5, 1)), 料金表!\$A\$6:\$A\$9, 0 (b) LEFT(\$A5, 3), 料金表!\$C\$5:\$E\$5, 0
 - ウ. (a) LEFT(\$A5, 3), 料金表!\$A\$6:\$A\$9, 0 (b) VALUE(RIGHT(\$A5, 1)), 料金表!\$C\$5:\$E\$5, 0

問3. シート名「分析表」のC13に設定する式を答えなさい。

- ア. =SUMIF(\$B\$5:\$B\$12, "*"&\$B13, C\$5:C\$12)
- イ. =SUMIF(\$B\$5:\$B\$12, \$B13&"*", C\$5:C\$12)
- ウ. =SUMIF(\$B\$5:\$B\$12, "?"&\$B13, C\$5:C\$12)

問4. シート名「分析表」のG5に次の式が設定されている。この式と同様の結果が得られる適切な式を答えなさい。

- =IF(AND(C5<D5, D5<E5), "*", "")
- ア. =IF(NOT(AND(C5<D5, D5<E5)), "*", "")
 - イ. =IF(NOT(OR(C5>=D5, D5>=E5)), "*", "")
 - ウ. =IF(OR(C5>D5, D5>E5), "*", "")

問5. 各シートに次のようなデータが入力されている場合、7月のDVD旧作の当日貸出の貸出料金の合計を計算して求めなさい。

シート名「東京店」

	A	B	C	D	E
1					
2	東京店 (単位:枚)				
3	集計コード	7月	8月	9月	合計
4	CDN-1	439	459	447	1,345
5	CDN-2	502	522	510	1,534
6	CDO-1	378	398	386	1,162
7	CDO-8	390	410	398	1,198
8	DVN-1	515	535	523	1,573
9	DVN-2	569	589	577	1,735
10	DVO-1	503	523	511	1,537
11	DVO-8	504	524	512	1,540
東京店 横浜店 千葉店 集計表 料金表 分析表					

シート名「横浜店」

	A	B	C	D	E
1					
2	横浜店 (単位:枚)				
3	集計コード	7月	8月	9月	合計
4	CDN-1	406	383	399	1,188
5	CDN-2	430	407	423	1,260
6	CDO-1	358	335	351	1,044
7	CDO-8	289	266	282	837
8	DVN-1	485	462	478	1,425
9	DVN-2	490	467	483	1,440
10	DVO-1	357	334	350	1,041
11	DVO-8	389	366	382	1,137
東京店 横浜店 千葉店 集計表 料金表 分析表					

シート名「千葉店」

	A	B	C	D	E
1					
2	千葉店 (単位:枚)				
3	集計コード	7月	8月	9月	合計
4	CDN-1	397	370	417	1,184
5	CDN-2	405	378	425	1,208
6	CDO-1	324	297	344	965
7	CDO-8	298	271	318	887
8	DVN-1	395	368	415	1,178
9	DVN-2	408	381	428	1,217
10	DVO-1	352	325	372	1,049
11	DVO-8	384	357	404	1,145
東京店 横浜店 千葉店 集計表 料金表 分析表					

- 【6】 ある高校の進路指導部では、生徒が進学する学校を次のようなリレーショナル型データベースを利用して管理している。次の各問いの答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

進学先報告書				
2009年11月20日				
生徒コード : 07F15 3年 F 組 15 番 氏名 : 岡村 ○○				
学校コード	学校名	学部等	学科・専攻等	選考区分コード
A10051	東京○○大学	経済	国際経済	2

- 作業の流れ
- ① 生徒は、進学する学校が決まると「進学先報告書」を担当へ提出する。
 - ② 担当が内容を確認後、進路指導部がデータベースに入力する。

生徒表

生徒コード	氏名	性別
}	}	}
07F15	岡村 ○○	男
07F16	北沢 ○○	男
07F17	酒井 ○○	女
07F18	高水 ○○	女
}	}	}

進学表

生徒コード	学校コード	区分コード
}	}	}
07F05	C10061	5
07F15	A10051	2
07E27	A10052	2
07D16	B10181	3
}	}	}

学校表

学校コード	学校名	学部	学科
}	}	}	}
A10051	東京○○大学	経済	国際経済
A10052	東京○○大学	経営	流通
A10061	日本○○大学	国際経済	国際コミュニケーション
}	}	}	}
B10032	関東○○短期大学	教育	幼児教育
}	}	}	}
C10061	○○専門学校	情報	ネットワーク
}	}	}	}
C10171	国際○○専門学校	美容	美容師
}	}	}	}

選考区分表

区分コード	選考方法
1	一般受験
2	指定校推薦
3	公募制推薦
4	自己推薦
5	AO入試
6	センター併用入試
7	スポーツ特別推薦
8	部活動推薦
9	その他

(注) 同一校でも、学部や学科が異なる場合には「学校コード」は別である。

問1. 次のSQL文のうち、参照整合性に反することなく実行できるものとして、適切なものを答えなさい。

- ア. DELETE FROM 学校表 WHERE 学校コード = 'C10061'
 イ. DELETE FROM 進学表 WHERE 生徒コード = '07D16'
 ウ. DELETE FROM 生徒表 WHERE 生徒コード = '07F05'

問2. 次の進学先報告書をデータベースに登録する場合、空欄(a)、(b)にあてはまる適切な組み合わせを答えなさい。

進学先報告書				
2010年 1月25日				
生徒コード : 07B10 3年 B組 10番 氏名: 大堀 ○○				
学校コード	学校名	学部等	学科・専攻等	選考区分コード
C10171	国際○○専門学校	美容	美容師	1

_____ (a) _____ 進学表 _____ (b) _____ ('07B10', 'C10171', '1')

- ア. (a) UPDATE (b) SET
 イ. (a) INSERT INTO (b) SET
 ウ. (a) INSERT INTO (b) VALUES

問3. 5名以上の生徒が進学する学校名、学部、学科を進学者数の多い順に抽出する場合、次のSQL文の最後に追加する文の適切な順序を答えなさい。

```
SELECT  学校表.学校コード,学校名,学部,学科
FROM    進学表,学校表
WHERE   進学表.学校コード = 学校表.学校コード
```

— 追加するSQL文 —

- ① ORDER BY COUNT(*) DESC
 ② GROUP BY 学校表.学校コード,学校名,学部,学科
 ③ HAVING COUNT(*) >= 5

- ア. ③ → ① → ② イ. ② → ③ → ① ウ. ③ → ② → ①

問4. 女子生徒が指定校推薦で進学する学校の一覧表を作成する場合、空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。ただし、重複行を取り除く。

```
SELECT  _____ 学校名,学部,学科
FROM    進学表,学校表,生徒表
WHERE   進学表.学校コード = 学校表.学校コード
        AND 生徒表.生徒コード = 進学表.生徒コード
        AND 性別 = '女'
        AND 進学表.区分コード = '2'
```

- ア. BETWEEN イ. IN ウ. DISTINCT

問5. 学校表から、学部に「経済」を含む学校名および学部をすべて抽出する場合、空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。

```
SELECT  学校名,学部 FROM 学校表 WHERE 学部 LIKE _____
```

- ア. '%経済%' イ. '_経済_' ウ. '経済(*)'

(平成22年 1 月31日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成21年度（第42回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 筆記 解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【3】	1	2	3	4	5

【4】	問 1	問 2	問 3	問 4	
				(1)	(2)

【5】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
					円

【6】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計

(平成22年 1 月31日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成21年度（第42回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 筆記

審 査 基 準

【1】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	サ	ア	キ	シ	カ	

【2】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	オ	ク	ケ	ウ	コ	

【3】	1	2	3	4	5	各3点 計15点
	ウ	イ	イ	ア	ウ	

【4】	問1	問2	問3	問4		各4点 計20点
				(1)	(2)	
	イ	ア	ウ	ア	イ	

【5】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	ア	ウ	ア	イ	303,000 円	

※「,」なしも可。

【6】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	イ	ウ	イ	ウ	ア	

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計
100

2010年 1 月31日 実施

平成21年度（第42回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報部門〉
第 1 級 実技試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって、シート 4 の A 1 のセルに受験番号を入力してください。
3. 試験問題は 2 ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は30分です（印刷時間は含みません）。
6. 印刷は監督者の指示にしたがって、シート 4 を 1 ページで印刷してください。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

あるとんかつ店では、原材料費が値上がりしたために、昨年2月のデータを使って今年2月の売上計画を立てることにした。すべての品の売上数を同数増やすことで利益の合計を昨年以上にするための必要最低売上数量を求めたい。処理条件にしたがって、シート1からシート4を作成しなさい。なお、各シートの※印の部分は資料をもとに入力し、※※印部分は関数やアプリケーションソフトのデータ集計・分析機能などを利用して作成すること。

資料1 商品表

品コード	品名	単価
RK	ロースカツ	880
FK	ヒレカツ	980
SR	上ロースカツ	1,480
SF	上ヒレカツ	1,680
EB	エビフライ	1,580

資料2 売上データ

年	月	日	売上コード	品名	売上数
2009	1	3	RK38	ロースカツ	38
2009	1	3	FK34	ヒレカツ	34
2009	1	3	SR24	上ロースカツ	24
}	}	}	}	}	}
2009	12	29	SF25	上ヒレカツ	25
2009	12	29	EB27	エビフライ	27

資料3 原価率表

	実績	計画
原価率	0.28	0.35

処理条件

- 表の形式および体裁は、次ページのシート1からシート4を参考にして設定する。
設定する書式：罫線，列幅，数値につける3けたごとのコンマ
- シート1は，次のように作成する。
「商品表」の※印の部分は，資料1のデータを入力する。なお，品コードおよび単価は半角英数字である。
- シート2は，次のように作成する。
 - 検定試験開始前に提供されたデータを使用する。
 - E列の「品名」の※※印の部分は，D列の「売上コード」の左端から2文字をもとに，シート1の「商品表」を参照して表示する。
 - F列の「売上数」は，D列の「売上コード」の右端から2文字を抽出し，数値データに変換する。
- シート3は集計作業用シートで，シート4の作成に必要なデータを集計するために，自由に利用する。
- シート4は，次のように作成する。
 - 「1. 原価率表」の※の部分，資料3のデータを入力する。
 - 「2. 昨年の売上実績表」は次のように作成する。
 - C列の「売上数」は，シート3から必要な部分をコピーして，値を貼り付ける。
 - D列の「単価」は，B列の「品名」をもとに，シート1の「商品表」を参照して表示する。
 - E列の「売上高」は，C列の「売上数」にD列の「単価」を掛けて求める。
 - F列の「原価」は，「売上高 × 実績の原価率（\$C\$6）」の式で求める。ただし，整数未満を四捨五入する。
 - G列の「利益」は，「売上高 - 原価」の式で求める。
 - 15行目の合計は，10行目～14行目までの合計をそれぞれ求める。
 - 「3. 今年の売上計画表」は，次のように作成する。
 - C列の「売上数」は，次の式を入力しておく。
C19の設定例 C10+\$C\$27
 - D列の「単価」は，B列の「品名」をもとに，シート1の「商品表」を参照して表示する。
 - E列の「売上高」は，C列の「売上数」にD列の「単価」を掛けて求める。
 - F列の「原価」は，「売上高 × 計画の原価率（\$D\$6）」の式で求める。ただし，整数未満を四捨五入する。
 - G列の「利益」は，「売上高 - 原価」の式で求める。
 - 24行目の合計は，19行目～23行目までの合計をそれぞれ求める。
 - C26は，「1. 原価率表」の計画の「原価率」から実績の「原価率」を引いて求める。
C26の設定例 D6-C6
 - C27は，初期値として0を入力する。
 - G24は，C27が0以上の整数，G24はG15以上である値で最小になるようにアプリケーションソフトのデータ分析機能を利用して求める。
設定例 目的セル：G24 目標値：最小値 変化させるセル：C27
制約条件：C27は整数，C27は0以上，G24はG15以上
- グラフは，「2. 昨年の売上実績表」と「3. 今年の売上計画表」から作成する。
 - グラフの※※印の部分は，表に入力された数値を表示する。
 - グラフの数値軸目盛は，最小値(0)，最大値(4,000,000)および間隔(1,000,000)を設定する。
- シート4を報告書として，1ページにおさまるように調整する。

	A	B	C
1			
2	商品表		
3	品コード	品名	単価
4	RK	※	※
5	FK	※	※
6	SR	※	※
7	SF	※	※
8	EB	※	※

(シート1)

	A	B	C	D	E	F
1						
2	売上データ					
3	年	月	日	売上コード	品名	売上数
4	2009	1	3	RK38	ロースカツ	38
5	2009	1	3	FK34	※※	※※
6	2009	1	3	SR24	※※	※※
7	?	?	?	?	?	?
1552	2009	12	29	SF25	※※	※※
1553	2009	12	29	EB27	※※	※※

(シート2)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1														
2	合計 / 売上数	月												
3	品名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
4	ロースカツ	※※	※※	823	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※
5	ヒレカツ	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※
6	上ロースカツ	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※
7	上ヒレカツ	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※
8	エビフライ	※※	332	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※
9	総計	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	37482

(シート3の利用例)

A	B	C	D	E	F	G
---	---	---	---	---	---	---

2010年2月の売上計画分析表

1. 原価率表

	実績	計画
原価率	※	※

2. 昨年の売上実績表

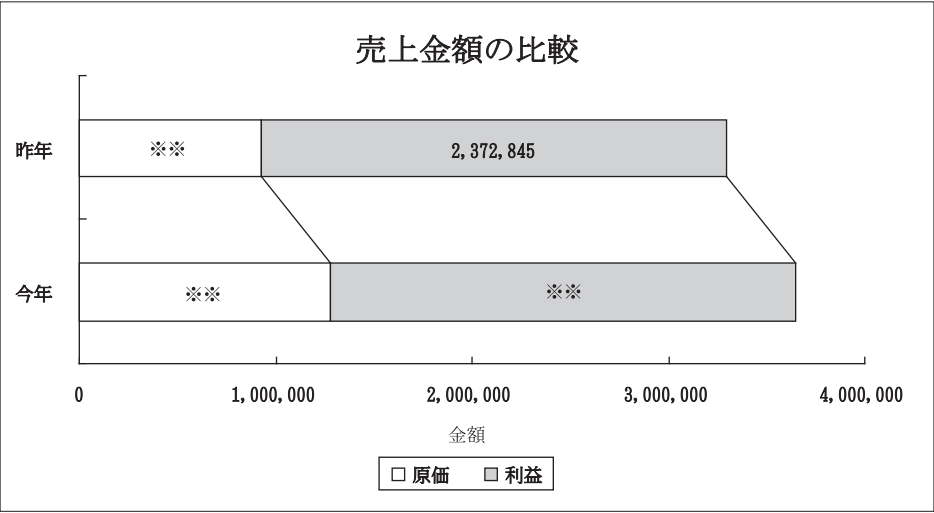
品名	売上数	単価	売上高	原価	利益
ロースカツ	※※	※※	※※	181,597	※※
ヒレカツ	※※	※※	※※	※※	※※
上ロースカツ	※※	※※	※※	※※	※※
上ヒレカツ	※※	※※	846,720	※※	※※
エビフライ	332	※※	※※	※※	※※
合計	2,634		※※	※※	2,372,845

3. 今年の売上計画表

品名	売上数	単価	売上高	原価	利益
ロースカツ	※※	※※	※※	※※	※※
ヒレカツ	※※	※※	630,140	※※	※※
上ロースカツ	※※	※※	※※	※※	※※
上ヒレカツ	※※	※※	※※	328,104	※※
エビフライ	※※	※※	※※	※※	※※
合計	2,904		※※	※※	※※

原価率の増加を
各品の売上数が

0.07	とした場合
※※	増えることで昨年以上の利益が期待できる。



(シート4)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成21年度（第42回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 実技
審 査 基 準

A	B	C	D	E	F	G
1	2010年2月の売上計画分析表					
2						
3						
4	1. 原価率表					
5		実績	計画			
6	原価率	0.28	0.35			
7						
8	2. 昨年の売上実績表					
9	品名	売上数	単価	売上高	原価	利益
10	ロースカツ	737	880	648,560	181,597	466,963
11	ヒレカツ	589	980	577,220	161,622	415,598
12	上ロースカツ	472	1,480	698,560	195,597	502,963
13	上ヒレカツ	504	1,680	846,720	237,082	609,638
14	エビフライ	332	1,580	524,560	146,877	377,683
15	合計	2,634		3,295,620	922,775	2,372,845
16						
17	3. 今年の売上計画表					
18	品名	売上数	単価	売上高	原価	利益
19	ロースカツ	791	880	696,080	243,628	452,452
20	ヒレカツ	643	980	630,140	220,549	409,591
21	上ロースカツ	526	1,480	778,480	272,468	506,012
22	上ヒレカツ	558	1,680	937,440	328,104	609,336
23	エビフライ	386	1,580	609,880	213,458	396,422
24	合計	2,904		3,652,020	1,278,207	2,373,813
25						
26	原価率の増加を	0.07	とした場合			
27	各品の売上数が	54	増えることで昨年以上の利益が期待できる。			
28						
29						
30	注1 売上金額の比較					
31						
32	注2					
33	昨年					
34		922,775	2,372,845			
35						
36						
37						
38						
39	今年					
40		1,278,207	2,373,813			
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						

注3

注4

注5

注6 (金額)

注7 ☐ 原価 ☐ 利益

配点

- ①表の作成 () の箇所) 5点×12箇所=60点
注 罫線は含まない。数値は、3けたごとにコンマをつけていること。
- ②罫線 2. 昨年の売上実績表 5点× 1箇所= 5点
- ③グラフの作成 () の箇所) 5点× 7箇所=35点
注1 グラフタイトルは、文字および位置（グラフの上側）が正しく設定されていること。
注2 項目軸ラベルは、文字および位置（昨年在上、今年が下）が正しく設定されていること。
注3 種類は、積み上げ横棒グラフで、値がコンマつきで正しく表示され、左右の重ね順が正しく設定されていること（上下の位置は問わない）。
注4 区分線が設定されていること。
注5 数値軸目盛は、最小値(0)、最大値(4,000,000) および間隔(1,000,000) が正しく設定されていること。
注6 数値軸ラベルは、方向、文字および位置（グラフの下側）が正しく設定されていること。
注7 凡例は、位置（グラフの下側）および文字が正しく設定されていること（左右の順序は問わない）。

※ 審査にあたっては、「審査上の注意事項」をあわせて参照してください。